

2022 年

福岡自然農塾見学学習会のご案内

耕さず、草や虫を敵とせず、肥料農薬を必要としない
生命の営みに、ひたすら沿う農……



今年も始まりの^{とき}季となりました。

庭の梅の花は、寒風の中、散らずにじっとして、春の訪れを待ちわびています。足元では、ツクシが今にも顔を出さんと待ち構えています。

32年前、川口由一氏に出会い、自然農に出合い、それ以来、ずっと、田畑と向かい合う私の日々です。

自然農の世界は、ただ、自分と家族の食を賄うためだけのものではありません。そこには、^{いのち}生命の営みがあふれていて、人もその営みの中にあり、私という^{いのち}生命も、家族の生命も、さらに、この世界全体にも、思いを馳せれば、1人1人のすべての生命が、誰一人として、この生命の営みから外れることができないということに、思いを至らせてくれます。

すべてが一体であること、それでいて、一つ一つの生命は個々別々であること。花も草も木も。山も川も海も。そして、小さな虫や動物たちも……。すべてが、つながり合って存在していることに、自ずから思い至り、そこに信を置くことができます。

今は、コロナ禍の中であって、様々に惑わされ、思い煩うことも多いです。

本来の人の人らしい生き方を望んでいても、人類は、長い長いその歴史の中で、必ずしも最善の答えを出してきたかという、そうではありません。むしろ、解決不可能と思える課題が山積しています。

私達は、1人1人の深いところの澄んだ魂を呼び起こし、この地上に生きとし生けるすべての生命たちのことに思いを馳せ、生きるとはどういうことなのか、本来、生命の営みは、この地球生命圏において、どうなっているのか、整理し、明らかにしてゆかねばなりません。

さらに、その問いに終始するのではなく、答えとなることを生きてゆかねばなりません。

自然農を実践することで、真智を深く抱いて、人としての成長を成したいものです。

汚され 損なわれ 病み続ける地球が
地球上のあらゆる^{いのち}生命たちが
そうして私達人間が これ以上に
生命衰えさせていくことなく
浄化を盛んとして 生命^{ひさ}寿しく
美しい姿して巡りつづけてくれますように

迷いの中の私達人間が
真の知恵に目覚め
優れた能力よく働かせ
崇高な精神忘れることなく
清くして 心平和に 楽しく
美しい姿して巡り続けること出来ますように



「妙なる畑に立ちて」川口由一著より

2022 年 * 年間学習内容



月・日	学 習 内 容	
4 月 17 日 (日)	・春の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○お米の苗床作りと種降ろしの仕方 ○春夏野菜の種降ろし数種の仕方 ※お米の種粃を希望の方にお分けします。
6 月 5 日 (日)	・田植えを 中心に	○学びの場、実践地の見学 ○夏野菜の手の貸し方、支柱の立て方など ○一貴山の田んぼで田植えの実習、畦塗や水の管理の仕方
8 月 7 日 (日)	・夏の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○田の草への応じ方、田の夏の管理について ○果菜類（ナス、トマト、ピーマン、キュウリなど）の手の貸し方 ○秋冬野菜の種降ろし
10 月 16 日 (日)	・秋の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○稲刈り、稲架かけづくり及び稲架かけの仕方 ○麦の種降ろし ○畑の野菜への応じ方と手の貸し方
11 月 20 日 (日)	・実りを 手にする	○学びの場、実践地の見学 ○お米の脱穀、唐箕、調整（粃摺り、精米） 昔からの道具を使い手作業で行います。 ○精米したお米と自然農の野菜で作ったお味噌汁を その場で炊いていただきます。 (弁当不要。各自、箸、おわん2つ持参)
2023 年 2 月 19 日 (日)	・冬の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○お米の苗床の準備（畑の作物の苗床作りにも応用できます。） ○新たに畑の畝を立てる、低くなった畝を立て直す。 ○エンドウの種おろし等

見学学習会の一日の流れ

9:00 集合・受付（松国学びの場―糸島市二丈松国）

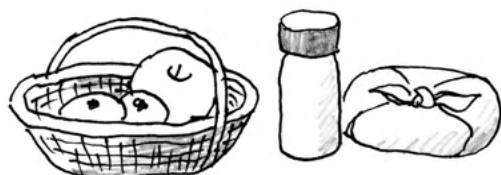
9:30 開始

午前中は松国学びの場の見学と畑の実習を行います。その後、一貴山へ移動して昼食をとっていただき、午後は、鏡山農園と一貴山学びの場の見学、田んぼの実習を行います。見学実習終了後は、言葉を交わしながらの学習会となります。参加者の皆さんの質問等に応じ、また、自然農の世界について、深いところから視野を広げてあらゆるテーマで話し合いたいと考えております。

17:00 終了

参加費：1,000 円 持ってくるもの：軍手、帽子、長靴、あればノコ鎌、弁当（11月は不要）、水筒

*毎回、種の交換コーナーを作りたいと思います。余分に採れた種を皆で持ち寄って分け合いましょう。



《見学学習会についての問い合わせ先》

鏡山 TEL 092-325-0745

村山 TEL 090-7927-2726

木下 TEL 090-8418-5801

福岡自然農塾の各学びの場と農園



福岡自然農塾（代表：鏡山 悦子）とは、松国、一貴山、花畑の3ヶ所の学びの場と農園を総称しての名称です。見学学習会においては、主に松国と一貴山がその対象となります。個々に農園等を見学されたい方は、必ず前もってご連絡ください。

松国自然農塾 ◆所在地 福岡県糸島市二丈松国 ◆代表 村山 直通[090-7927-2726]

現在、75名の方が一年間を通して、自然農のお米づくりと野菜づくりを学んでいます。

田んぼが約2.2反、畑約3.5反、果樹1反で一人当たりの広さはそれほど広くはありませんが、週末や休日を利用して福岡市内や近郊より通って楽しく学んでいます。毎月1回（第2日曜日）に指導と共同作業をやっています。

周囲の斜面や山林もお借りして果樹やシイタケの栽培にも取り組み、年末には育てた稲藁でしめ縄作りなど、総合的な学びを心がけています。

一貴山自然農塾 ◆所在地 福岡県糸島市二丈一貴山 ◆代表 鏡山英二[092-325-0745]

一貴山は松国から、少し山手に入った、空気と水のきれいな中山間地の棚田地帯です。2002年に学びの場が開かれ、鏡山家を中心にして現在34名が学んでいます。広さは田と畑を合わせて約1町7反に増えました。1人当たりの広さもかなり広く、将来の農的暮らしを見据えての学びの場です。自然農に目覚めるのは、農地を持たない都市生活者が多いので、具体的に農的暮らしを始めるとなると、一貴山のような中山間地の放棄された棚田がいろいろな視点から最適だと思います。平地にはない厳しさもありますが、生きるための総合力を身に付けられたらと思っています。

鏡山農園 ◆所在地 福岡県糸島市二丈一貴山 ◆代表 鏡山悦子[092-325-0745]

1992年より夫婦で自然農を学び始め、今年で31年目を迎えます。「唐原」と「上の山」での学びを経て、1996年より一貴山で自然農を営み始めました。1999年には家を建て、長年の夢であった農的暮らしが始まりました。現在は、田んぼ8畝、畑3反、果樹地1反を営んでいます。果物を加工したり、コンニャクや豆腐を作ったり、日々の暮らしに田畑の恵みを様々なに利用する知恵は、昔は当然だったことを、今は一つ一つ学びながら自らに備え、次の世代にも伝えていくことが静かな喜びです。今年は、お醤油造り5年目です。今年は11家族が醤油造りに取り組むことになり、先日、各々1年分の醤油を搾ることができました。また、ニホンミツバチを飼い始めて11年目になります。感動がいっぱいです。

木下農園 ◆所在地 福岡県糸島市加布里 ◆代表 木下 まり[090-8418-5801]

自然農に切り替えて今年で28年目になりました。糸島半島の海沿いの温暖な地域にあります。田んぼは2反2畝ありますが、そのうち8畝程でお米を作っています。畑は7畝で、自給用の米と野菜はほぼまかなっています。食卓を囲む家族の人数も少なくなり、作付面積を少なくしたり、周りの方にお分けすることも増えました。農園の周囲は慣行農法の田に囲まれています。獣の害はあまりありませんが、カモの食害や、潮風の害が、まれにあります。また、近隣の田と水を入れる時期の調整など、ここなりの工夫も要します。醤油、味噌、^{とうぼんじゃん}豆板醬、マスタード等、自然の恵みを手作りして日々楽しんでいます。

花畑自然農塾 ◆所在地 福岡市南区花畑3丁目 ◆代表 村山直通[090-7927-2726]

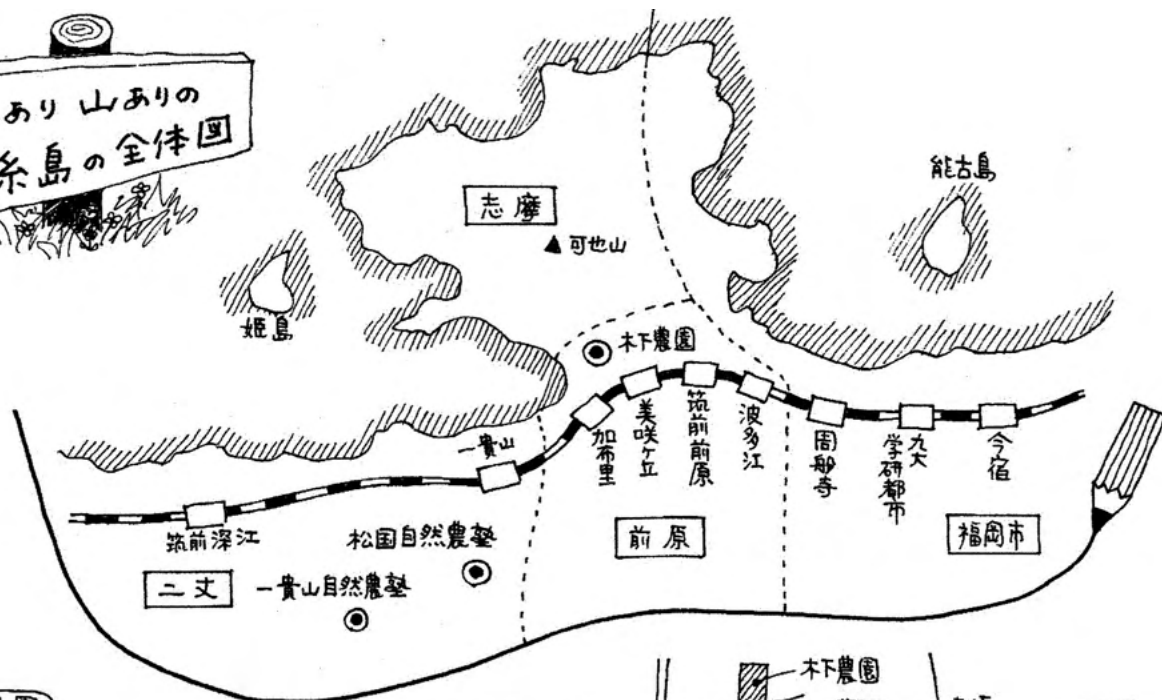
都市の中の自然農学びの場です。現在28名が約2反の畑で学んでいます。下記の日程で見学会を開催しています。

＜花畑自然農塾見学会＞2022年の予定

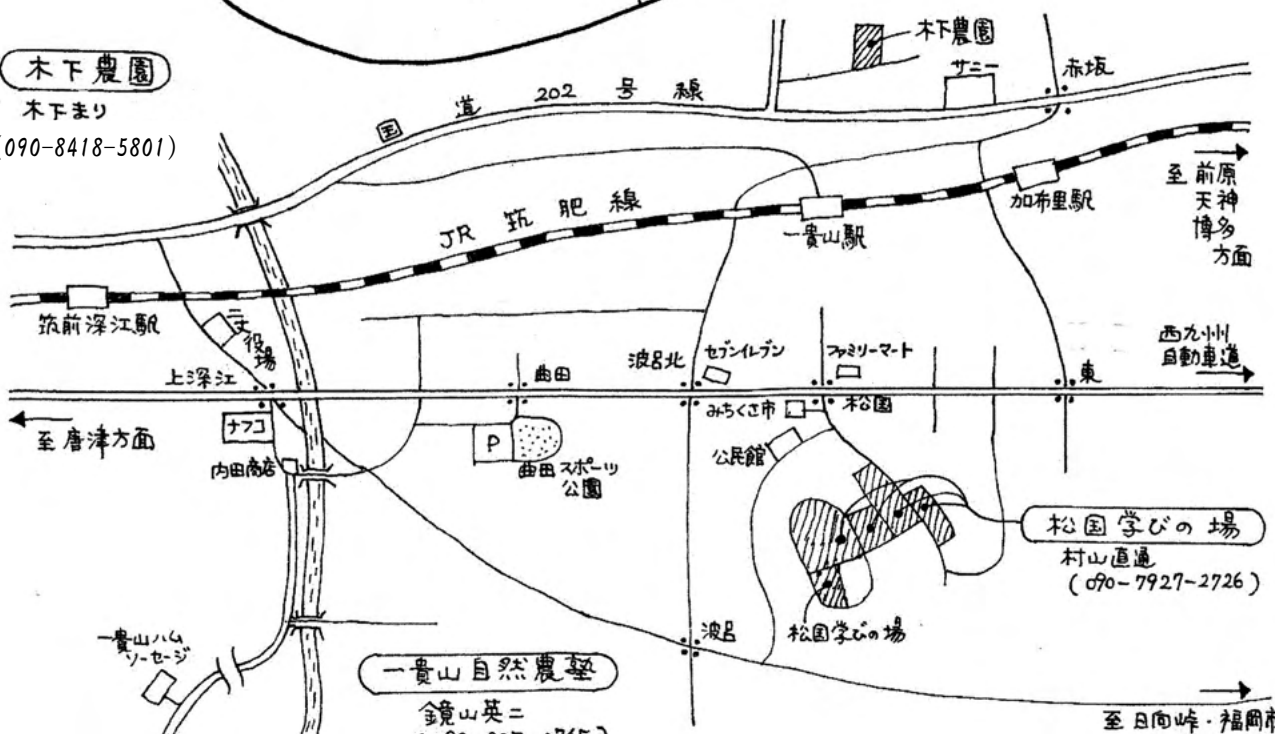
3/6(日)、5/1(日)、7/3(日)、9/10(土)、11/3(祝)、2023年1/8(日)

集合場所：福岡市南区花畑3丁目 花畑小学校正門付近 集合時間：午後1時30分 （参加費無料）

海あり山ありの糸島の全体図



木下農園 木下まり (090-8418-5801)



一貴山自然農塾 鏡山英二 (092-325-0745)

鏡山農園 鏡山悦子 (092-325-0745)

